

1.元データ(セル結合等削除後)

歴史的建造物一覧		
		平成26年4月現在
名称	所在地	建築年
Aビル	○町	平成元年復元(旧建物大正11年)
B会館	△町	大正15年
C教会	□町	昭和8年
D公会堂	■一丁目	昭和8年
F教会	△町	昭和6年
G邸	■二丁目	大正元年
H工場施設	○町～□町	明治29年
Iビル	○△町	江戸末期

## 2.ID付与・ボキャブラリマッピング

歴史的建造物一覧			
@column	rdfs:label	schema:address	dc:date
@comment	名称	所在地	建築年
1	Aビル	○町	平成元年(旧建物大正11年)
2	B会館		
3	C教会		
4	D公会堂		
5	F教会		
6	G邸	■二丁目	大正元年
7	H工場施設	○町～□町	明治29年
8	Iビル	○△町	江戸末期

URIを記載する行の先頭は@column,  
元のカラム名定義は@commentを入力

IDがない場合はIDを付与

ボキャブラリのURI

### 3.ヘッダ整備

<pre>@prefix dc: &lt;http://purl.org/dc/elements/1.1/&gt; . @prefix dcterms: &lt;http://purl.org/dc/terms/&gt; . @prefix rdf: &lt;http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#&gt; . @prefix schema: &lt;http://schema.org/&gt; . @prefix rdfs: &lt;http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#&gt; .</pre>				貼り付けたURIのNamespaceを記載 @で始まる文言は関数と誤認されるので、 頭に'を入れて編集する この部分は、共通のものを作成しておい てコピーすることを推奨 スペースを詰めないこと			
<pre>@prefix exc: &lt;http://example.org/c/&gt; .</pre>							
<pre>@prefix historicalBuilding: &lt;http://example.org/historicalBuilding/&gt;</pre>							
<pre>_this dc:title "歴史的建造物一覧"; dc:date "2013/4/1"; dc:creator "testuser".</pre>							
@column	rdfs:label	schema:address	dc:date				
@comment	名称	所在地	建築年				
1	Aビル	○町	平成元年復興(旧建物大正11年)				
2	B会館						
3	C教会						
4	D公会堂						
5	F教会						
6	G邸	■二丁目	大正元年				
7	H工場施設	○町～□町	明治29年				
8	Iビル	○△町	江戸末期				
ドキュメントのNamespaceとURIを決める							

#### 4 IDのURI化・クラス、カテゴリ定義

@prefix dc: <http://purl.org/dc/elements/1.1/> .				
@prefix dcterms: <http://purl.org/dc/terms/> .				
@prefix rdf: <http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#> .				
@prefix schema: <http://schema.org/> .				
@prefix rdfs: <http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#> .				
@prefix exc: <http://www.semanticweb.org/exc/ontology#> .				
@prefix historicalBuilding: <http://www.semanticweb.org/exc/ontology/historicalBuilding/> .				
_:this dc:title "歴史的建造物一覧"; dc:date "2013/4/1"; dc:creator "testuser" .				
@column	rdf:type	rdfs:label	schema:address	dc:date
@comment		名称	所在地	建築年
historicalBuilding:1	exc:HistoricalBuilding	Aビル	○町	平成元年復元(旧建物大正11年)
historicalBuilding:2	exc:HistoricalBuilding	B会館	△町	大正15年
historicalBuilding:3	exc:HistoricalBuilding	C教会	□町	昭和8年
historicalBuilding:4	exc:HistoricalBuilding	D公会堂	■一丁目	昭和8年
historicalBuilding:5	exc:HistoricalBuilding	F教会	△町	昭和6年
historicalBuilding:6	exc:HistoricalBuilding	G邸	■二丁目	大正元年
historicalBuilding:7	exc:HistoricalBuilding	H工場施設	○町～□町	明治29年
historicalBuilding:8	exc:HistoricalBuilding	Iビル	○△町	江戸末期
IDにドキュメントのNamespaceをつけてURI化。 ただし、NamespaceのURIが#で終了する場合				

## 5. CSV化

- ・CSVで出力する。タブ区切り、カンマ区切りどちらでも構わないが、タブ区切り(txt)の方がトラブルが少ない。
- ・出力されたCSVの文字コードを確認する。WindowsのExcelの場合はSJISになる。
- ・CSV化する際、必要な列のみ選択して別シートにコピーする方がトラブルが少ない。  
(そのままシートのみCSVで保存すると、列数が多くなるときがある)